

# 福山・府中圏域における定量的な基準 (再提案[化学療法を追加])

## A: 具体の医療内容からの整理

## B: 入院料からの整理

高度急性期

- ① 【50床換算・月当たり件数】
- 手術総数 114回数 → 86回数
  - **化学療法 22件** → 20件
  - 救急医療管理加算 19件 → 16件
  - 呼吸心拍監視 45件 → 39件
- ※いずれか2つを満たしていること

急性期

- ② 【50床換算・月当たり件数】
- 手術総数 57回数 → 43回数
  - **化学療法 11件** → 10件
  - 救急医療管理加算 19件 → 16件
  - 呼吸心拍監視 45件 → 39件
- ※いずれかを満たしていること

回復期

- ③ **地域急性期**
- ②で回復期となった病棟のうち救急医療管理加算の実績あり

慢性期

- ④ 特にしきい値は設定しない。

福山・府中圏域の  
閾値4項目指標値  
※対象病棟数(29)

- ・ 救命救急入院料(救命救急C)
- ・ NICU,PICU,ICUなどの治療室

- ・ 一般の産科病棟

- 現状の報告を基本
- ・ 小児入院医療管理料(病棟単位)
  - ・ 病棟の実態に即して判断
  - ・ 緩和ケア病棟入院料

- ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料
- ・ 健診病棟

- ・ 療養病棟入院基本料
- ・ 特殊疾患病棟入院
- ・ 障害者施設等入院基本料 など

この基準を採用した場合の  
試算は別紙3(上段)のとおり